

保健室サポーター マニュアル

- 活動日時・養護教諭が、学校行事・検診・スクールカウンセラー対応など、保健室に在籍できない時。
(各学期で数回あります。例えば、1学期は検診時、野外活動時。2学期は修学旅行時。毎学期スクールカウンセラー来校時。2学期・3学期の身体測定補助など)
- その他
- ・シフト制とさせていただきます。その為、あらかじめ案内をさせていただき、皆様のご都合を伺います。その結果を集計させていただき、正式な活動日をご案内させていただきます。
 - ・保健室が混雑する時間帯は、
8:20～8:50(始業前)、10:30～10:50(20分放課)、13:25～13:45(昼放課)です。
 - ・入っていただく時間帯によっては、フリーな時間ができることがあります。保健室や、ねこサポールームにあります「保健活動マニュアル」に目を通していただいたり、ご自宅から書物や趣味の物などを持って来ていただくなどもよいかと思います。また、複数人で入られている時は、「こころのサポーター」として、校内を巡回していただいてもかまいません。
 - ・シフト決定後に、ご都合が悪くなられた場合はねこ SAPO(連絡先は後日お知らせ)まで、
当日に、ご都合が悪くなられた場合は、地域連携担当教職員服部・左近・小杉(学校 82-9640)まで、ご連絡ください。
 - ・自家用車で来校していただいても構いません。お手数ですが、西門側の駐車場(芸術棟横)をご利用いただけると助かります。

保健室サポーターは見守っていただくことが一番の仕事です。原則として措置は職員が行いますが、急を要するような重症・重篤状態ではなく、日頃、ご自宅でお子様に対応されているような内容であれば、その場でご対応頂ければ大変助かります。

なお、その対応方法は、保健室及び、ねこ SAPO ルームに置いてある「保健活動マニュアル」に記載しておりますのでご覧ください。

<例えば>

体調不良を訴えて来る子どもには、先ず、話を聞いて(体の調子について)、体温を測っていただく。寄り添い見守っていただく。

擦り傷を訴えて来る子どもには、傷口を洗って清潔にし、出血がある場合は絆創膏を貼る。打撲による痛みを訴えて来る子どもには、冷やすための保冷剤を渡す。など..

※基本的に判断に困った場合、多くの子どもたちがやって来て対応に困った時など、職員室へ行って応援を頼みましょう。

※保健室が子どもたちでいっぱいになった場合、とりあえず付き添いで来てくれている子どもには教室へ戻るように伝えていただくとよいかと思います。



【保健室サポーター活動の流れ】

※各自、ご家庭で来校前に行っていただきたいこと

- ・検温
- ・健康観察（ご自身及び、ご家族様）…体調は万全か？など。

※各自、ご家庭でご用意していただきたいもの

- ・ハンカチ（タオル）
- ・水分補給用にお茶など
- ・本など(活動によっては静かな時間が持てることもあります)

※学校で用意するもの

- ・スリッパ（室内履き）

※来校時間

- ・各自、活動時間の 5 分前

※活動場所

- ・基本的に保健室

※待機及び準備場所

- ・学校 1 階の「ねこ SAPO ルーム」

入っていただく時間によっては、昼食などをこちらでとっていただいても構いません。時間の許す限りご自由にお使いいただければと思います。

【来校から活動までのながれ】

- ① 来賓玄関のインターホンにて(玄関が開いていても)
「保健室サポーターの〇〇です」と伝えていただきお入りください。
- ② 下駄箱に下靴を入れていただき、そのままスリッパをご利用ください。
- ③ ねこ SAPO ルーム、または保健室へ移動(←場所は案内図でご確認下さい。)をお願いします。

◎活動内容

☆保健室に来た児童を見守ります。

☆家庭で出来る程度の治療をお願いする場合があります。(すり傷を洗って絆創膏をはる、打撲の患部を冷やす、体温を測るなど)

☆大きなけがや発熱などの体調不良、判断に迷う場合は職員室へお声掛けをお願いします。

